

# 地球温暖化と省エネ行動に関するアンケート調査

## 結果報告書

平成 30 年 8 月

神奈川県環境農政局環境部環境計画課

かながわ地球環境保全推進会議

## 目次

### I 調査概要

### II 調査結果

- 1 地球温暖化問題について
- 2 県及びかながわ地球環境保全推進会議の取組等について
- 3 家庭で行う省エネ（地球温暖化対策）について

## I 調査概要

### 1 調査の目的

家庭部門の地球温暖化対策の推進を図るため、家庭の省エネに関するアンケート調査を行い、今後の施策展開の基礎資料とする。

なお、平成 21 年度・平成 23 年度・平成 25 年度にマイアジェンダ登録者を対象に同様の調査を実施している。また、平成 28 年度には今回調査と同様の方法にて調査を実施している。

### 2 調査対象

一般県民等（インターネット利用者）

### 3 調査方法

- ・神奈川県ホームページ「e-かなネットアンケート」に掲載
- ・メールマガジン「エコ 10 だより臨時号」において上記掲載情報を周知

### 4 調査期間

平成 30 年 6 月 25 日～7 月 25 日

### 5 回答状況

(1) 回答者数 438 人

(2) 回答者の属性

ア 性別

男性 293 人 (66.9%)、女性 145 人 (33.1%)

イ 年齢

～19 歳	0 人 (0.0%)	40～49 歳	95 人 (21.7%)	70～79 歳	51 人 (11.6%)
20～29 歳	23 人 (5.3%)	50～59 歳	119 人 (27.2%)	80 歳～	15 人 (3.4%)
30～39 歳	54 人 (12.3%)	60～69 歳	81 人 (18.5%)		

ウ 住所

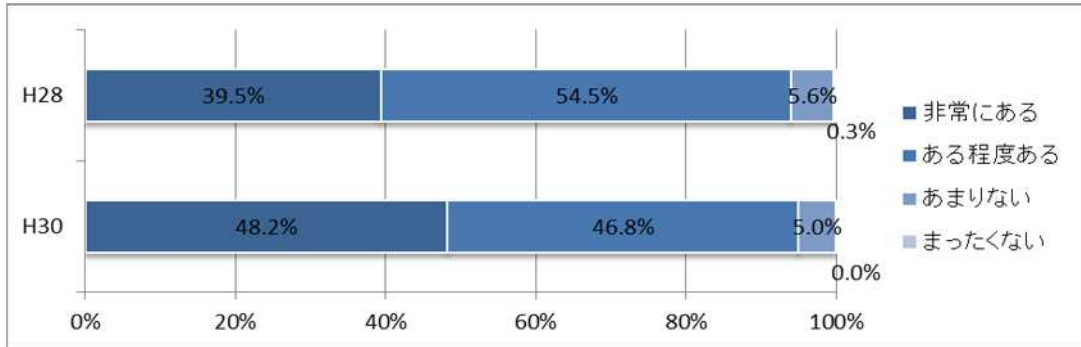
横浜市	205	46.8%	逗子市	5	1.1%	綾瀬市	1	0.2%	開成町	6	1.4%
川崎市	26	5.9%	三浦市	1	0.2%	葉山町	1	0.2%	箱根町	0	0%
相模原市	25	5.7%	秦野市	9	2.1%	寒川町	3	0.7%	真鶴町	1	0.2%
横須賀市	18	4.1%	厚木市	15	3.4%	大磯町	3	0.7%	湯河原町	1	0.2%
平塚市	16	3.7%	大和市	2	0.5%	二宮町	0	0%	愛川町	0	0%
鎌倉市	6	1.4%	伊勢原市	6	1.4%	中井町	2	0.5%	清川村	0	0%
藤沢市	21	4.8%	海老名市	8	1.8%	大井町	1	0.2%	神奈川県外	25	5.7%
小田原市	9	2.1%	座間市	6	1.4%	松田町	0	0%			
茅ヶ崎市	15	3.4%	南足柄市	1	0.2%	山北町	0	0%			

## II 調査結果

### 1 地球温暖化問題について

#### 【Q1】

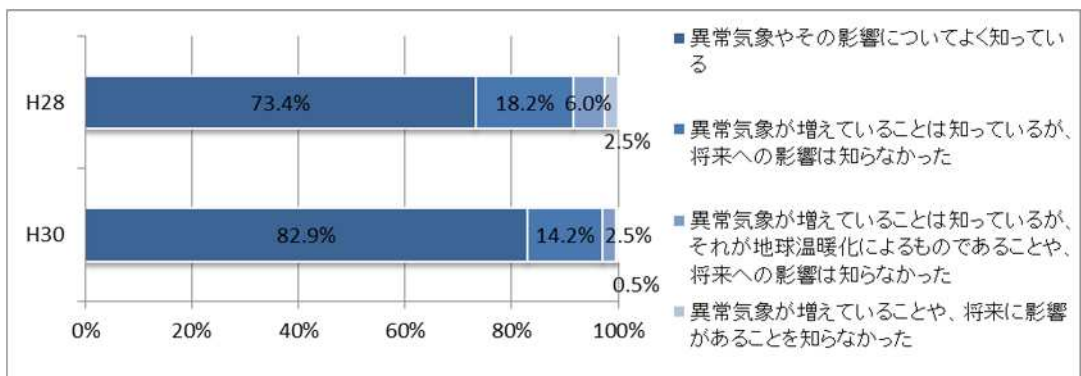
あなたは現在、地球温暖化問題に関心がありますか。（○は1つ）



「非常に興味がある」「ある程度興味がある」の《興味がある》が合わせて95.0%となり、地球温暖化問題への関心が非常に高かった。前回調査（平成28年度）と比較すると、《非常に興味がある》は8.7ポイント増（39.5%→48.2%）となった。

#### 【Q2】

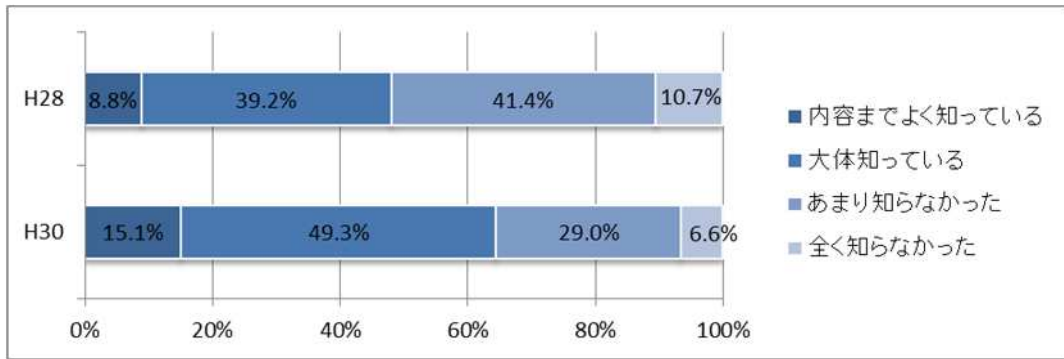
猛暑日の増加等、異常気象の頻度が高まっていますが、（総括して「気候変動」といいます。）あなたは、このまま温暖化が進むと、洪水・干ばつ、農作物の品質低下等の影響がより強く現れるおそれがあることを知っていますか。（○は1つ）



「地球温暖化がもたらす異常気象やその影響についてよく知っている」が82.9%を占め、「異常気象が増えていることや、将来に影響があることを知らなかった」は0.5%であり、多くの方に知識があることがうかがわれた。前回調査（平成28年度）と比較すると、《よく知っている》は9.5ポイント増（73.4.0%→82.9%）となった。

#### 【Q3】

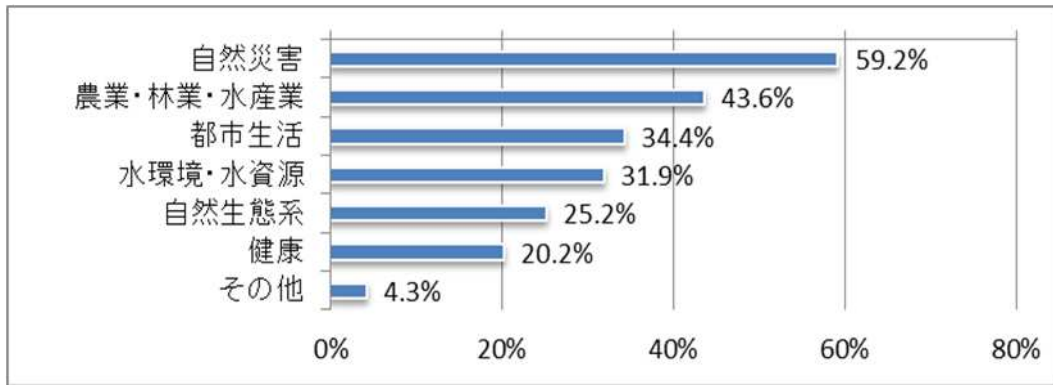
あなたは気候変動による被害を最小限に食い止めるための取組「適応策」について、どのくらい知っていますか。（○は1つ）



適応策の「内容までよく知っている」「大体知っている」を合わせた《知っている》が64.4%となり、前回調査（平成28年度）と比較して、16.4ポイント増（48.0%→64.4%）となった。「気候変動適応法」が平成30年6月に成立・公布されたことや、猛暑のため熱中症対策等の適応策が報道されたことにより、《知っている》が増えたものと思われる。

【Q4】

（Q3で「内容までよく知っている」「大体知っている」と回答した方）あなたは「適応策」として、どの分野の取組が重要だと考えますか。（〇は2つまで）

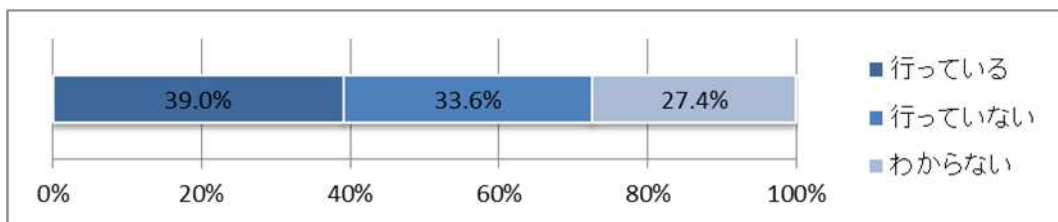


適応策として重要だと思う分野のうち、「自然災害」が59.2%と最も高く、次いで「農業・林業・水産業」が43.6%、「都市生活」が34.4%となった。洪水や短時間豪雨の増加による自然災害は近年多く報道されており、対策が必要と認識している方が多いことがうかがわれた。

2 県及びかながわ地球環境保全推進会議の取組等について

【Q5】

あなたはマイエコ10（てん）宣言を行っていますか？（〇は1つ）

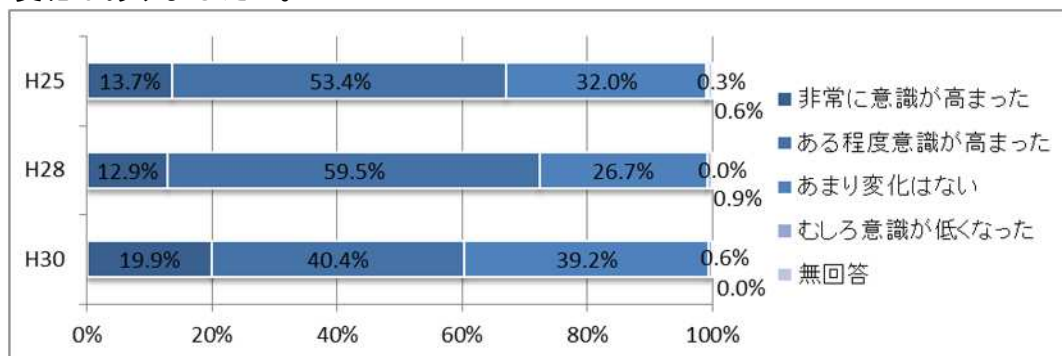


回答者のうち「マイエコ10宣言を行っている」は39.0%であり、「行っていない」は33.6%であった。

【Q6】

(Q5で「行っている」と回答した方)

マイエコ 10 (てん) 宣言を行ってから、地球温暖化問題に対してあなたの意識に変化はありましたか。

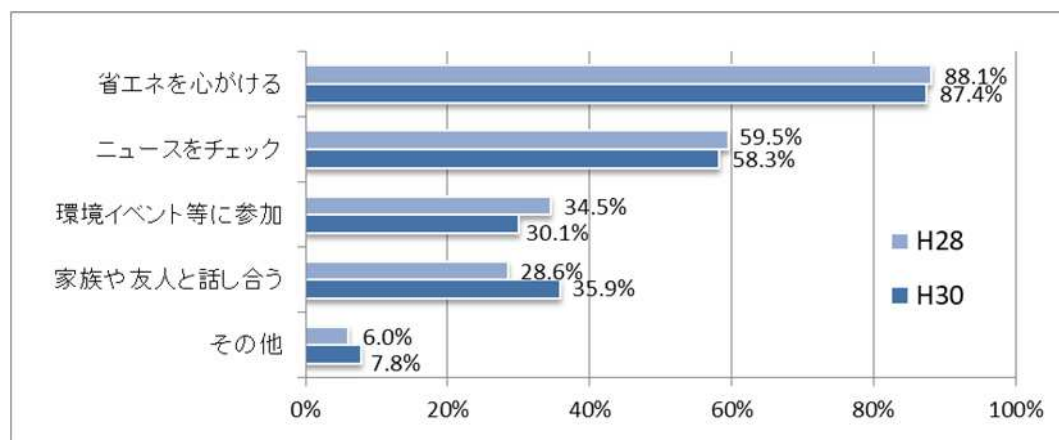


「非常に高まった」「ある程度意識が高まった」を合わせた《意識が高まった》が60.3%、「あまり変化はない」が39.2%であった。過去調査(平成25年度・平成28年度)と比較すると、「あまり変化はない」の割合が増加しており(32.0%→26.7%→39.2%)、平成27年度にマイエコ10宣言に移行した直後の調査(平成28年度)より12.5ポイント増となった。

【Q7】

(Q6で「非常に意識が高まった」「ある程度意識が高まった」と回答した方)

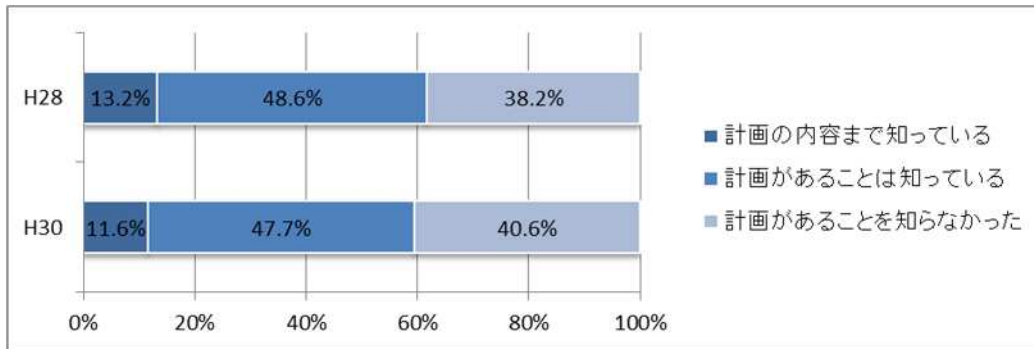
具体的にどのようなことを意識するようになりましたか？(〇はいくつでも)



「省エネ・節電を心がけるようになった」が87.4%と最も高く、次いで「地球温暖化に関するニュースをチェックするようになった」58.3%となった。前回調査(平成28年度)から引き続き、地球温暖化問題に関する意識の高まりが実際の行動に結びついていることがうかがわれた。

【Q8】

神奈川県地球温暖化対策計画では、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度と比べて27%削減するという目標を掲げ、全ての事業者や県民の皆さんと相互に連携・協働して取組を推進していくこととしています。この計画を知っていますか。(〇は1つ)



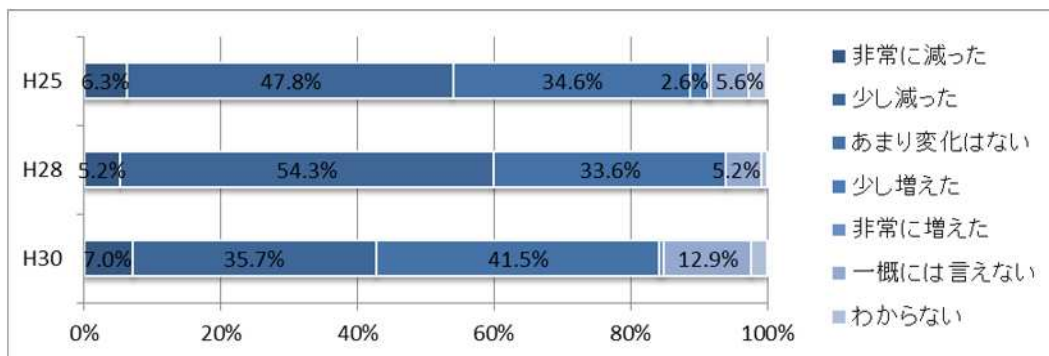
「計画の内容まで知っている」と回答した人は 11.6%にとどまり、「計画があることは知っている」が 47.7%とほぼ半数を占めた。計画の内容について引き続き周知が必要であることがうかがわれた。

### 3 家庭で行う省エネ（地球温暖化対策）について

#### 【Q9】

（Q5でマイエコ10（てん）宣言を「行っている」と回答した方）

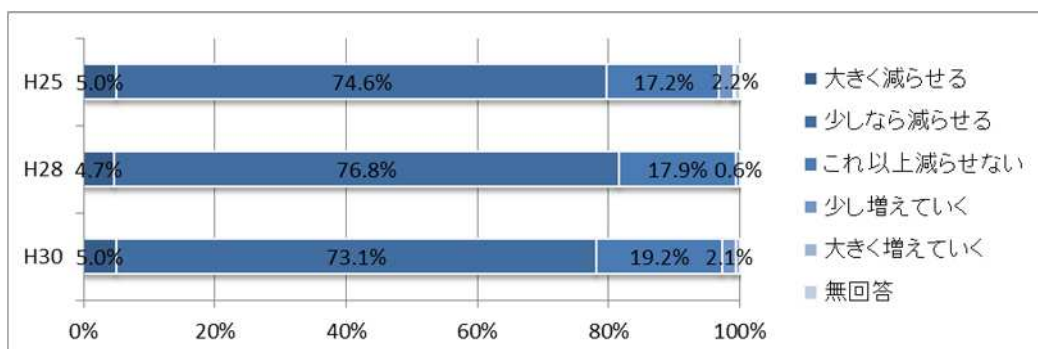
マイエコ10（てん）宣言をした後、あなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量に変化はありましたか。（○は1つ）



「非常に減った」と「少し減った」を合わせた《減った》が 42.7%となっており、「マイエコ10宣言」による意識の変化が具体的な省エネルギー行動に結びついていることがうかがわれた。一方で「あまり変化はない」も 41.5%であり、マイエコ10宣言が直接的な行動に結びついていない方も同数いる結果となった。

#### 【Q10】

あなたの家庭で、今後、電気・ガス・水道の使用量を、現在よりも減らしていくことは可能だと思いますか？（○は1つ）

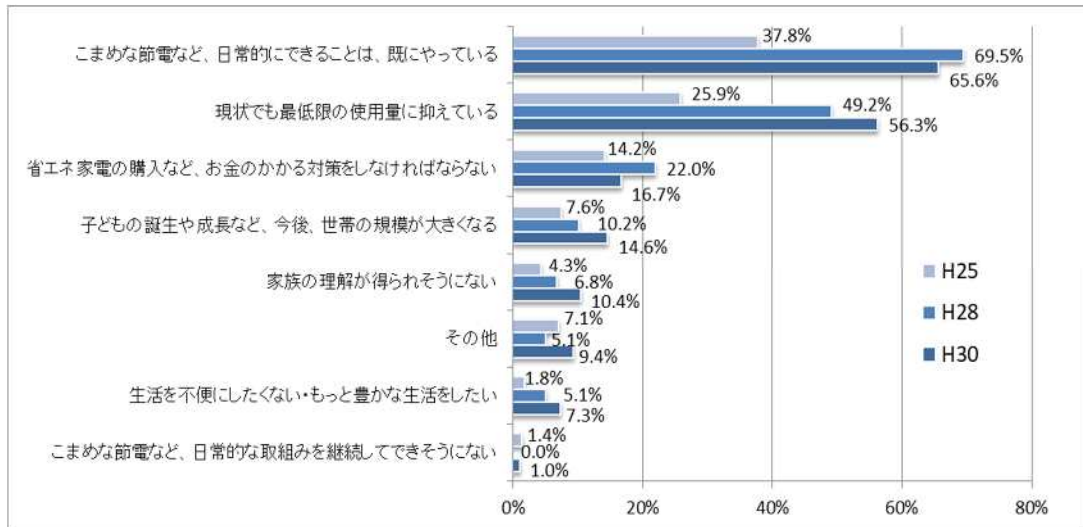


「大きく減らせる」と「少しなら減らせる」を合わせた《減らせる》は 78.1%となっており、多くの家庭で、電気・ガス・水道の使用量をさらに減らす余地があると認識されていることがわかった。

【Q11】

（Q10 であなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量を「減らすことができない」「増えていく」と回答した方）

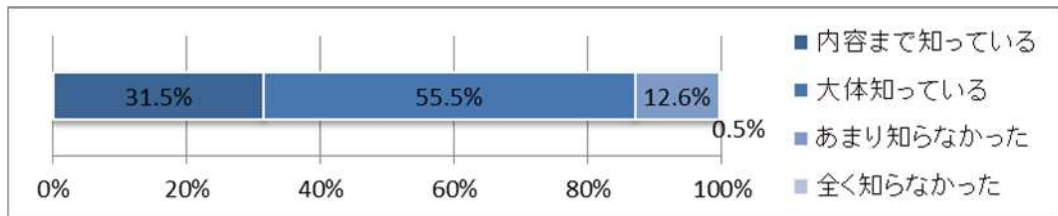
あなたの家庭の電気・ガス・水道の使用量を「減らすことができない」、「増えていく」と思うのはなぜですか。（〇は3つまで）



電気・ガス・水道の使用量を「減らすことができない」、「増えていく」と思う理由について複数回答で尋ねたところ、「こまめな節電など、日常的にできることは既にやっている」が最も多く、次いで「現状でも最低限の使用量に抑えている」であった。節電等に関する県民の意識が、定着しつつあることがうかがわれた。

【Q12】

平成 28 年 4 月 1 日以降、家庭や商店も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになりました。あなたは電力小売自由化をどのくらい知っていますか。（〇は1つ）

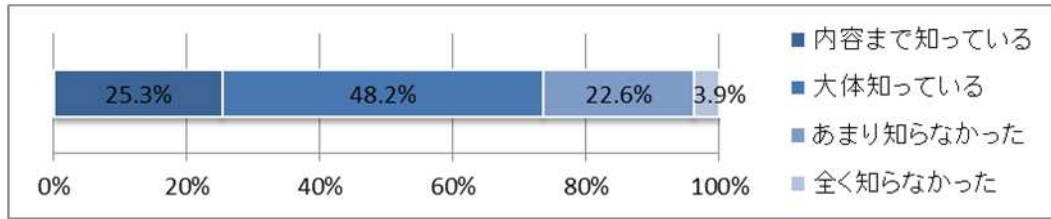


「内容まで知っている」、「大体知っている」を合わせた《知っている》は 87.0%となっており、電力自由化について一定の知識のある方が多いことがうかがわれた。

【Q13】

再生可能エネルギーの割合が高い電気を供給するなど、電気がどのように作られているか（電源構成）は電力会社によって異なります。あなたはそのことを知っていましたか。（〇は1つ）

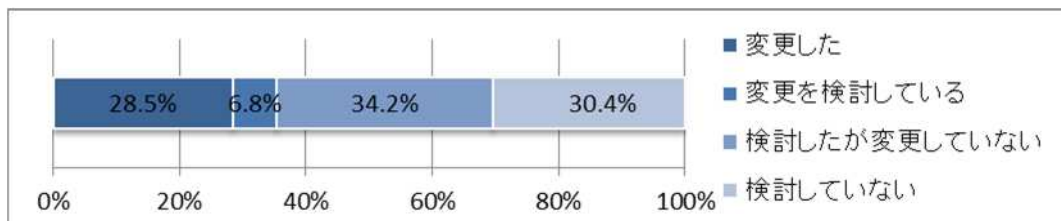




「内容まで知っている」、「大体知っている」を合わせた《知っている》は 73.5% となっており、電源構成が会社によって異なることを知っている方が多いことがわかった。一方で「あまり知らなかった」「全く知らなかった」が 26.5%であり、電源構成に関する情報提供が必要であることがうかがわれた。

【Q14】

あなたは電力会社の変更、もしくは変更の検討をしましたか。（〇は1つ）

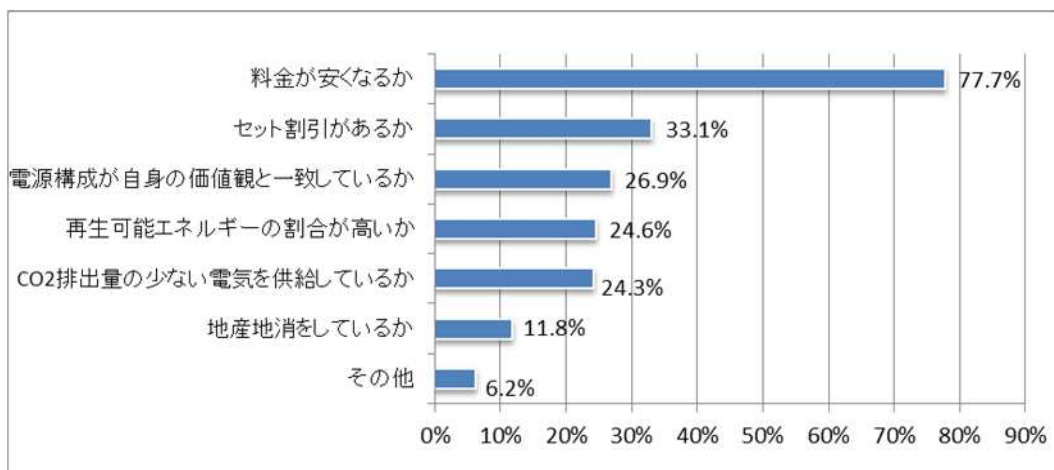


回答者のうち実際に電力会社を「変更した」が 28.5%であり、「検討したが変更していない」、「検討していない」を合わせた《電力変更に結びつかなかった》方が 64.6%であった。電力自由化を知ってはいるものの、実際に電力会社の選択に結びついた方は3割程度であるという結果であった。

【Q15】

（Q14 で電力会社を「変更した」「変更を検討している」「変更を検討したが変更していない」と回答した方）

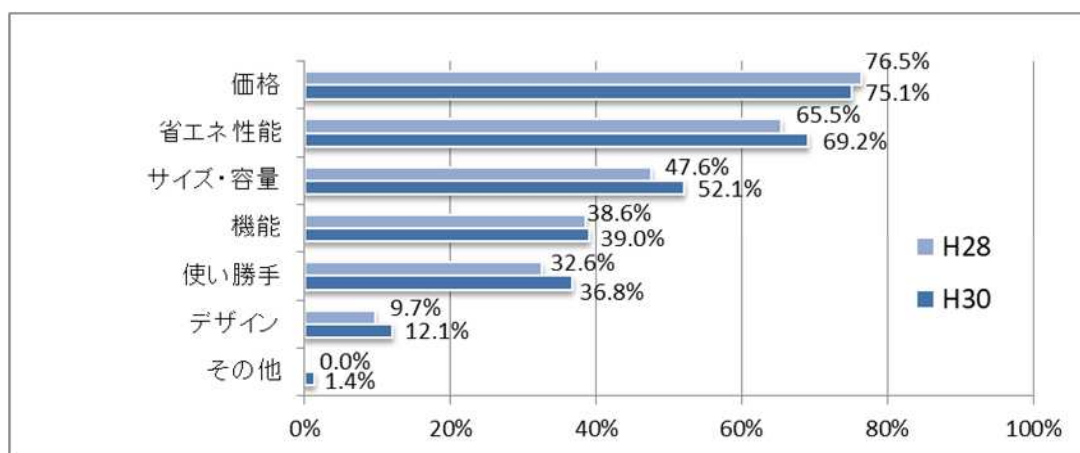
電力会社変更もしくは変更の検討にあたり、重視したことは何ですか。（3つまで）



電力会社の変更の検討にあたり重視したことは「料金が安くなるか」が最も高く 77.7%であった。省エネ行動に結びつく「電力構成が自身の価値観と一致しているか」は 26.9%、「再生可能エネルギーの割合が高いか」は 24.6%、CO<sub>2</sub> 排出量の少ない電気を供給しているか」は 24.3%であった。

【Q16】

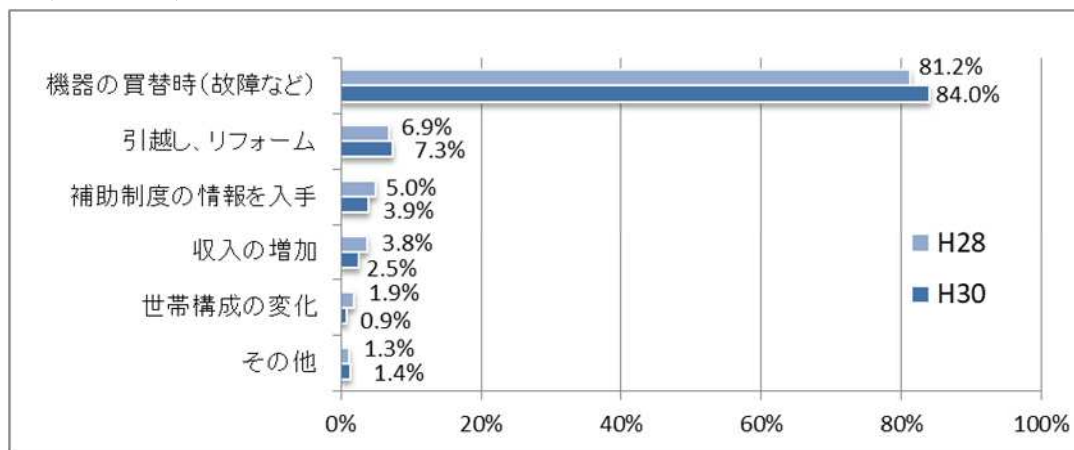
あなたは、冷蔵庫やエアコンなどの電化製品の買い替えや新規購入に際して、どの項目を優先して商品を選びますか？（○は3つまで）



家電購入時に優先する項目は「価格」が最も多かったが、次いで「省エネ性能」が挙げられ、省エネルギーに関する意識が高いことがうかがわれた。この傾向は過去調査（平成 28 年度）と同様であり、家電に対する省エネ性能への関心の高さがうかがわれた。

【Q17】

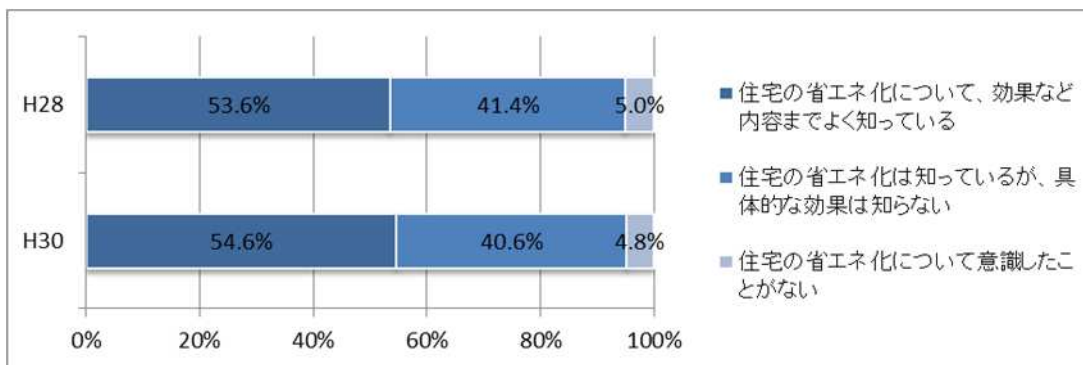
あなたが省エネ機器を家庭に導入しようとするタイミングはいつですか？（○は1つ）



省エネ機器を家庭に導入するタイミングは、「機器の買替時（故障など）」が最も多く、続いて「引越し、リフォーム」であった。機器の買替時に省エネ機器の購入を検討する方が圧倒的に多く、過去調査（平成 28 年度）と同様の結果となった。

【Q18】

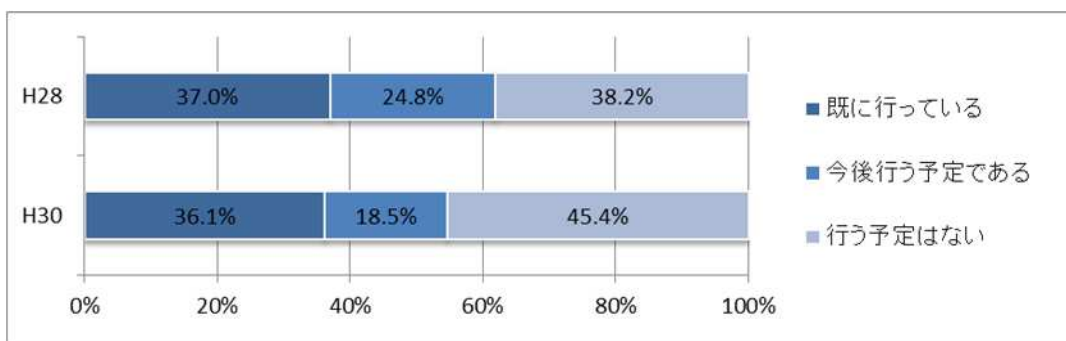
断熱材を使用した屋根や外壁など、住宅の断熱性能や気密性を高めて「住宅の省エネ化」をすることにより、冷暖房に使うエネルギーが減り、省エネにつながります。あなたは、住宅の省エネ化について知っていましたか。（○は1つ）



「住宅の省エネ化について、効果など内容までよく知っている」は 54.6%と最も高い一方で、「住宅の省エネ化は知っているが、具体的な効果は知らない」が 40.6%であった。引き続き住宅の省エネ化に関する情報提供や普及啓発が必要であることがうかがわれた。

### 【Q19】

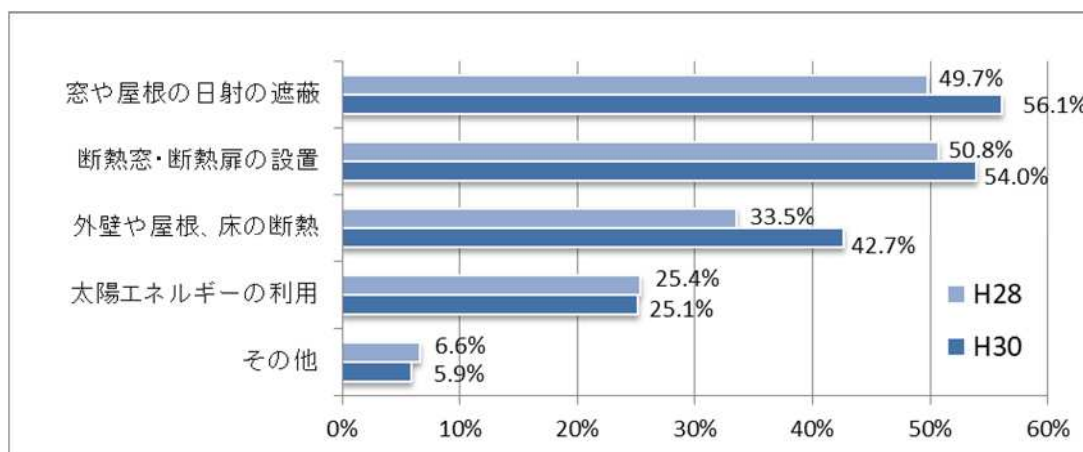
あなたは、あなたの住む家の省エネ効果を高める取組を行っていますか？  
(○は1つ)



「既に行っている」が 36.1%、「今後行う予定である」が 18.5%であり、合わせて 54.6%の人が家の省エネ効果を高める取組を進めていることがわかった。

### 【Q20】 (Q19で「既に行っている」「今後行う予定である」と回答した方)

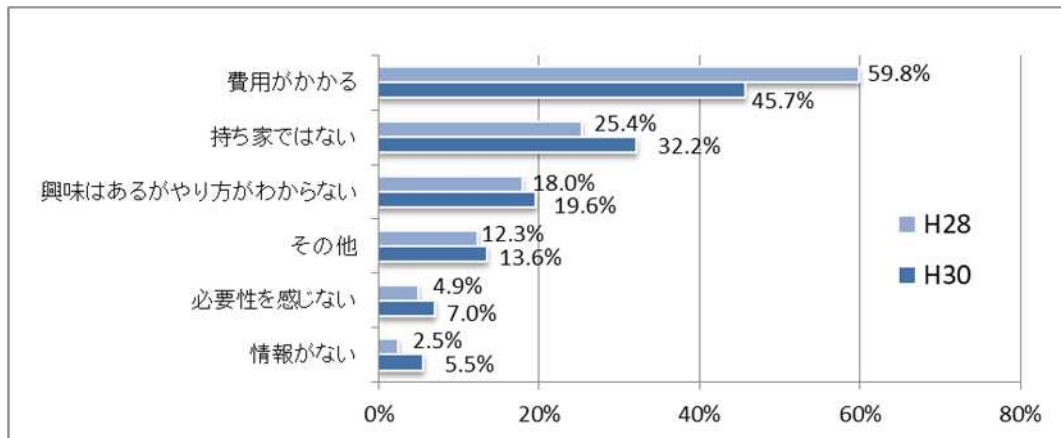
あなたが行った(行う予定の)住宅の省エネ効果を高める取組は、どのような内容ですか。(○はいくつでも)



「窓や屋根の日射の遮蔽」が 56.1%と最も高く、次いで「断熱窓・断熱扉の設置」が 54.0%、「外壁や屋根、床の断熱」が 42.7%であった。また、「その他」として吸熱率の低い屋根の塗料を使う、窓への断熱シートや厚手のカーテンを床まで垂らすなどが挙げられた。

【Q21】（Q19で「行う予定はない」と回答した方）

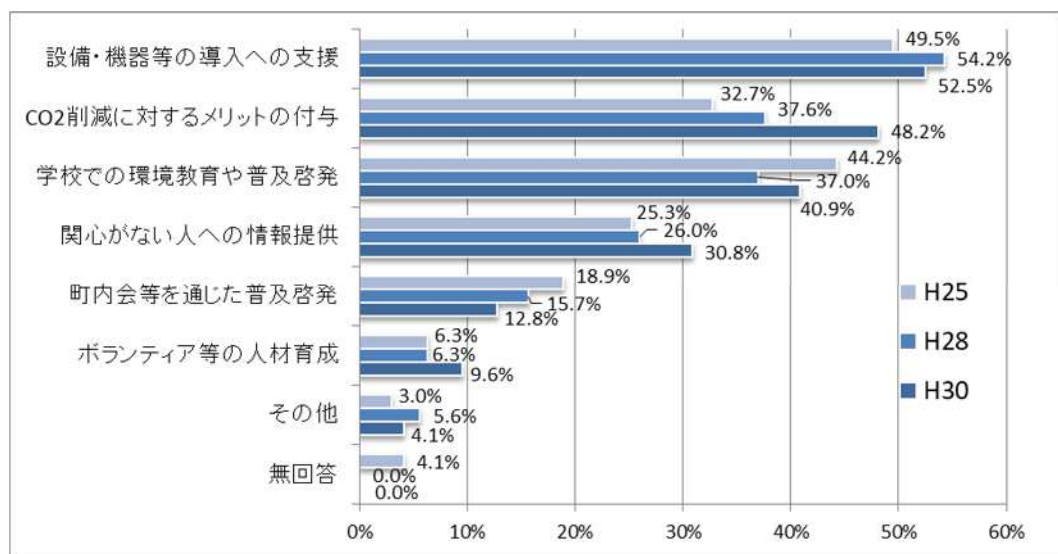
住宅の省エネ効果を高める取組を行う予定がない理由は、次のうちどれに当たりますか？（○はいくつでも）



住宅の省エネ効果を高める取組を行わない理由として「費用がかかる」が 45.7%と最も多く、次いで、「持ち家ではない」が 32.2%であった。「必要性を感じない」は 7.0%であることから、必要性は感じているが、コストや住宅事情等により取組が行えない状況がうかがわれた。

【Q22】

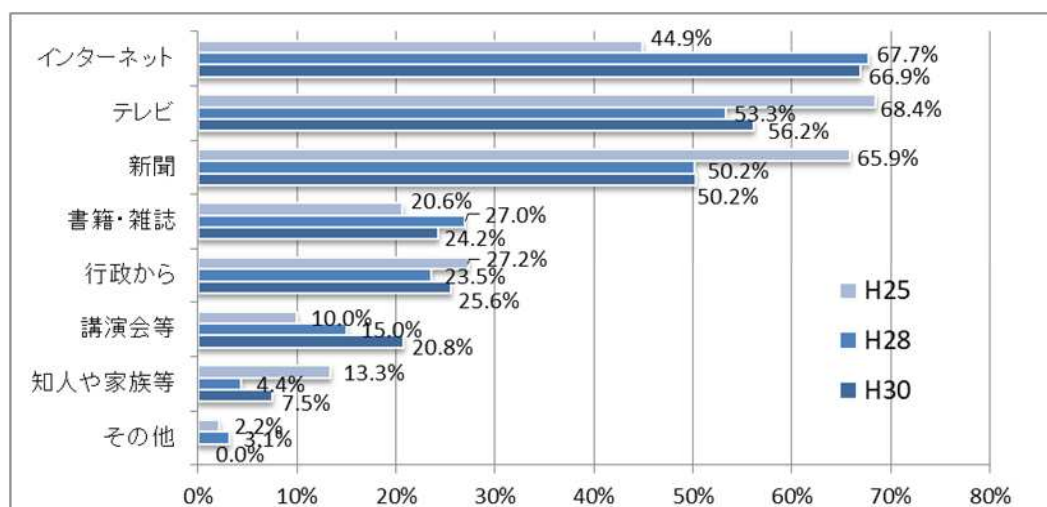
地球温暖化防止に向けて家庭の省エネをすすめるためには、具体的にどのような施策が最も有効だと思いますか？（○は2つまで）



「設備・機器等の導入への支援」が最も割合が高く、平成 25 年度・平成 28 年度・平成 30 年度と約 50%を占めていた。また、次いで「CO<sub>2</sub>削減に対するメリットの付与」や「学校での環境教育や普及啓発」が挙げられた。

【Q23】

あなたは、地球温暖化や省エネに関する情報を主にどこから得ていますか？  
(○は3つまで)



「インターネット」から情報を得ている割合は、66.9%と最も高く、次いで「テレビ」が56.2%、「新聞」が50.2%であった。また「その他」として、社内や所属団体から情報を得ているとの回答が挙げられた。

【自由意見】

家庭の省エネ（地球温暖化対策）について、ご意見やご提案を自由回答でいただいたところ、84件の回答があった。意見は次のとおり。（一部抜粋）

◆CO<sub>2</sub>削減のための提案

- ・多くの人が省エネに積極的に取り組むためには、省エネすれば得になるような政策の実施が一番効果的だと思う。
- ・エアコンの上手な使い方についての情報提供をお願いしたい。
- ・使わない部屋の冷暖房は消すなど少しの努力が大きな力となることを、国民一人一人がもっと真剣に自覚することだと思う。
- ・広く家庭に浸透させるには、親への心理的圧力として学校教育による児童・生徒の理解度アップと、魅力的な商品、低廉な光熱水費など家計へのメリットが不可欠だと思う。
- ・省エネを意識して出来る人はともかく、暑さ・寒さを嫌がる人達に冷暖房設備面での省エネは難しい。将来のためではなく今の生活を考えた行動をする方が大多数なので、我慢してする省エネではなく、省エネをすることにより得られるメリットがある社会となれば、率先した省エネが進むと思う。
- ・電気、ガスの使用量や使用時間帯、料金などが目に見える形で表示されるサービス（インターネットやスマホアプリなど）があれば、もう少し気をつけるようになると思う。
- ・省エネ以外の選択肢がない状況を創るしかない。
- ・成果がでたら、ポイントなどで還元してほしい。
- ・冷蔵庫やクーラーは、まだ使えても、消費電力量の少ないもの買い替えた方が、結局コスト減につながることをもっと理解して欲しい。

- ・「地球温暖化」と聞くと遠い話になる。省エネでお得になる、省エネしないと損をするなどのルールが出来れば、省エネすることへの関心が高まるのではないか。
- ・若い人向けには SNS など、「省エネするとカッコいい！」みたいな映像やイメージが年がら年中流れれば、関心が高まるのではないか。

#### ◆行政への提言

- ・各家庭において実行可能ですぐ取り組める事とそうでないこと等を、もっと具体的に提案してほしい。「トライ！マイエコ10宣言」良いと思う。多岐にわたっていて良い。
- ・県の取組に深刻度合いが感じられない。エコ10宣言もただやらされている感じ。もっと真剣に効果が表れる施策をやらないと実現出来るとは思わない。
- ・樹林地や街路樹を増やすことによる気温緩和策を講じてほしい。堤防のかさ上げのようなハードものだけやるのは、予算は取りやすいだろうが、「環境はめちゃくちゃになったが強固なコンクリートに囲まれてエアコンも完備したので大丈夫」という本末転倒につながりかねない。
- ・再生可能エネルギーの中でも、CO<sub>2</sub>が循環する木質バイオマスの活用、認知度の向上を今以上に進めるべき。
- ・学校教育で、地球温暖化に対する再生可能エネルギーの利用等について、今以上に具体的な、カリキュラムを作り教育すべきである。
- ・安全・安心・将来を本気で考え、地域にマッチングしたエネルギーを選択し、地域から発信する環境の取組が必要だと思う。

#### ◆その他

- ・家電1点1点は省エネ化が進んでいるが、スマホやお掃除ロボットなど便利家電が増え、結果として家庭で使用している電化製品が増えることで電力消費量も増加している。
- ・今夏のような酷暑になると何かせねばとは思っているのだが、小さな事は既にやっているのではジレンマがある。
- ・費用の面で実際は、取り組めないことが多い。
- ・本当に真剣に取り組まないと、子ども達の未来がかわいそうだと思う。
- ・日本における地球温暖化対策は、家庭の省エネにおいても、あまりに日常の家庭の省エネに頼りすぎている。
- ・住宅を新築していますが、断熱、気密、設備、太陽光発電、緑化、県産木材利用等いろいろと環境や持続性などに気を付けたかったが、情報源がそれぞれの分野に分散していて、気が付いたときは遅いということばかりだった。
- ・環境省の「うちエコ診断」のおかげで、これまで気がつかなかったことについて対策をすることができ、省エネが大いに進んだ。HEMS設置の効果も大きい。